



第3号
(1994年・平成6年)

女性座談会、歩く会、ゴルフ同好会など会員同士の集まりの活動の輪が広がってきました。



第4号
(1995年・平成7年)

会報は、3000部印刷され、関東支部会員はもとより、当年度卒業生全員、本部同窓会出席者、同窓会各支部宛にも配布されています。



第5号
(1996年・平成8年)

会報の印刷は、創刊から第17号までは、同窓生の故・藤波さん(S27年卒)の経営する三共総合印刷に、第18号からは小林さん(S41年卒)の印刷工房に印刷から配送までをお願いしています。



第6号
(1997年・平成9年)

この年から会報で総会・懇親会の案内を詳しく掲載するようになりました。



10号

創刊号

(1992年・平成4年発行)

第2号

(1993年・平成5年)

創刊以来発行日は毎年5月28日です。

後世に歴史を残すため、100年後の後輩たちにみてもらおうという、当時・湯本支部長(現・顧問)の発案で、会報は毎号、国会図書館に納本されています。

会報発行日と国会図書館納本は今も継続中です。

10ページから16ページに増ページされ、会員からの投稿「窓外漢(とうがいかん)」「会員だより」、同窓生で有名な久保田利伸さんや新浦壽夫さんの情報など満載。

第7号

(1998年・平成10年)

この年の平成10年10月10日(トリプルテン)の母校創立100周年を盛り上げるべく、関東支部独自の講演会(グレゴリー・クラーク氏による「世界から見た日本」)の開催案内、そして、恩師奥川先生から特別寄稿や多数の方からの「随想」など玉稿を掲載。

第8号

(1999年・平成11年)

前年の母校10周年記念記事、百周年記念講演会(要旨)、百周年記念論文コンクール最優秀賞作品など満載で、24ページ特集号。

第9号

(2000年・平成12年)

この年に関東支部は創立10周年を迎えました。その前年に支部長が湯本克巳氏→海野昭氏に交代しました。

